

授業科目	*看護マネジメント総論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21404J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP4-1			
担当教員	隅田 由加里							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>医療・看護の対象者の高齢化や重症化は、保健医療福祉におけるケアニーズの増加や多様性の拡大につながっており、その中で看護は、個人ではなくチームで継続的に質の高い看護を提供していかなくてはならない。看護マネジメント(看護管理)とは、対象者が求める質の高い看護サービスの実現のため、組織によって、効果的・効率的、そして創造的に枠組みを構築し、全ての看護者が統一した一定水準の看護を提供できるようにするための機能である。看護職が組織で、人々の尊厳、安全、安楽を守り、看護専門職としての責任を果たしているのかを、マネジメントの概念や原則の学び、看護実践活動の事例を通して理解を深めていく。また多職種が連携しチーム医療が推進される昨今において、看護職者個人および看護組織が担う役割は何か、専門職者として習得すべき組織人としてのスキルを理解する。さらに、医療施設等における看護の課題を組織運営の視点で探求する。</p> <p>担当者は、実務家教員として福岡県看護協会認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」まで修了し、長きにわたり看護管理者としてマネジメントを実践してきた経験をもつ。また福岡県看護協会 医療安全管理者養成研修と感染管理者コースを修了し、その知識をもとに医療安全管理を実践してきた。授業は講義が中心となるが、看護管理や医療安全管理の理解が深まるよう、具体的な事例を提示しグループワーク等も活用していく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職が看護活動を通して人々の健康や幸福に効果的・効率的・創造的に貢献できるための、看護マネジメントの基本的な考え方を身につけることができる。 2. 看護マネジメントの基本を学ぶなかで、ヒト・モノ・カネ・時間・情報という資源を活用し、効果的・効率的に看護をマネジメントするための思考力を高めることができる。 3. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、まずはグループメンバーで協力し課題を解決することができる。 4. 組織の中の自分という意識を持ち、責任感と倫理感に基づいたセルフマネジメントを行うことができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	30	0	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	65						65	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20		0		20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			10	0	0		10	
態度(DP4-1)			0	0	0	5	5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

<p>1. 看護マネジメントの意義・目的が根拠をもとに記述できる。</p> <p>2. 看護マネジメントの概要(看護マネジメントのプロセス、組織理解、チーム医療、各資源管理、医療・看護の質評価、診療報酬制度を中心とした看護に関わる医療制度)が具体例を用いて記述できる。</p> <p>3. 医療安全(事故防止)におけるマネジメントの概要(医療安全管理体制、事故発生のメカニズム、医療安全文化の醸成)が具体例を用いて記述できる。</p> <p>4. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解し、リーダーシップを図り課題解決に取り組むことができる。</p> <p>5. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解し、専門職としての自己の成長を考え、倫理に基づいた節度ある行動をとることができる。</p>	<p>1. 看護マネジメントの意義・目的を述べることができる。</p> <p>2. 看護マネジメントの概要(看護マネジメントのプロセス、組織理解、チーム医療、各資源管理、医療・看護の質評価、診療報酬制度を中心とした看護に関わる医療制度)を述べることができる。</p> <p>3. 医療安全(事故防止)におけるマネジメントの概要(医療安全管理体制、事故発生のメカニズム、医療安全文化の醸成)を述べることができる。</p> <p>4. 医療・看護の質の維持・向上のためには、多様性を踏まえた多職種との連携・協働のしくみづくりが必須であることを理解しメンバーシップを図り課題解決に取り組むことができる。</p> <p>5. 看護管理の要素であるセルフマネジメントの重要性を理解し、自己の成長を考え節度ある行動をとることができる。</p>			
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	看護マネジメント総論のガイダンス 講義:看護マネジメントの概要 (講義:隅田由加里) ・看護マネジメントの歴史 ・看護マネジメントの定義 ・看護マネジメントの対象 ・看護マネジメントのレベル、プロセス、対象、活用資源	・シラバスを用いて科目についてのオリエンテーションを実施する。 ・講義:テキストとスライドを活用して行う。	【予習・復習】 1.看護マネジメント総論で学ぶ知識と技術への理解を深め、学習内容の積み重ねと効果的な活用につなげるため、今後に役立つ「ポートフォリオノート」を作成する。 2.本日の講義に該当する部分の復習を行う。 3.該当分野の国家試験過去問題を活用する。	【予習・復習】60分
2	講義:組織と個人① (講義:隅田由加里) ・組織の構築(計画化、組織化、人事化) ・看護組織におけるマネジメントの基本(人材資源管理、時間管理、労務管理、物品管理、情報管理)	講義:テキストとスライドを活用して行う。	第1回目と同様	【予習・復習】60分
3	講義:組織と個人② (講義:隅田由加里) ・看護専門職としてのセルフマネジメント能力、 ・リーダーシップとフォロアーシップ・メンバーシップ	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
4	病棟における看護マネジメントの実際と質評価 ・指揮(病棟における看護の1場面からマネジメントの実際を考える) ・統制(看護の質評価)	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
5	多職種連携・チーム医療から考える医療安全対策組織と看護師の役割 ・医療安全管理体制 ・人間の特性と事故発生のメカニズム	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
6	医療安全管理の実際と質評価 ・医療事故の分析 ・医療安全文化の醸成 ・医療の質と評価	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
7	看護専門職としてのキャリア形成 ・継続教育制度、卒後教育制度 ・専門看護師、認定看護師	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分

	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療における看護師の存在 ・看護職が活躍する職場 			
8	看護と病院経営 (講義: 隅田由加里) <ul style="list-style-type: none"> ・医療・看護を取り巻く社会の現状 ・医療における国の基本方針 ・診療報酬制度 ・看護サービスの報酬(重症度看護必要度) 	第2回目と同様	第1回目と同様	【予習・復習】60分
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	<p>コロナ禍にある今、テレビやインターネットを介して、病院や看護の現状や課題が報道されています。まずはこのようなメディアによる医療や看護に関連するニュースや情報を、医療・看護の組織としての連携や協働、病院にはどのような資源があるのかなどの視点で視聴してみましょう。今までとは違う気づきがあると思います。また1年次の生活援助技術論演習や2年次の診療関連技術論演習では、「あなたが患者に安全・安楽・自立を考慮した質の高い看護ケア(排泄の援助や注射の技術など)を実践する」という視点で学びを深めてきましたが、この看護マネジメント総論では、全ての看護師が安全に安楽に患者の自立を考え、統一された質の高い看護ケアを提供するにはどのような枠組みを構築すれば具現化できるかという視点で看護を思考していきます。まずは、これまでの経験や体験を振り返り、個人ではなくチームで目標を達成するために努力したこと協力してきたことなどを振り返り考えをまとめておきましょう。</p>
テキスト	<p>「ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理」(メディカ出版) 「ナーシング・グラフィカ 看護の統合の実践② 医療安全」(メディカ出版)</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①(医学書院) ・系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②(医学書院) ・井部俊子 中西睦子著:看護管理学習テキスト 第1巻～第8巻、別巻)日本看護協会出版会) ・P.F.ドラッカー著 上田惇生編訳:[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則(ダイヤモンド社) ・岩崎夏海著:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら(ダイヤモンド社) ・河野龍太郎:医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」(医学書院)
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>この大学時代が終了したら、皆さんは看護職として社会に巣立っていき、様々な医療機関や、地域の施設や企業に就職すると思われるかもしれませんが、日々医療現場で行われている手指消毒方法の徹底統一はだれがいつどのように行っていると思いますか？ サージカルマスクをはじめとする个人防护具が常に不足しないようにするためには、どのようなしくみが存在しているのでしょうか？ 重篤な患者に使用する人工呼吸器をどの看護師でも安全に活用できるようにするためには、どのような教育を誰が企画し実践しているのでしょうか？ このような疑問符の答えは看護マネジメント総論を学ぶことで解決できるでしょう。そして医療現場ではこのような細やかなマネジメントが実施されているので、円滑に患者に行うべき看護ケアを迅速に提供することができるということを理解していきましょう。この単元を通してマネジメントとは管理者だけが知り行うものではなく、組織に属するすべての人が実践するものであることを理解してください。そしてその知識や考え方を習得し、来年度からの各論実習や総合実習を通して、まずは受け持ち患者の療養環境のマネジメントから実践してほしいと思います。</p>
達成度評価に関するコメント	<p>本授業の課題達成度は、「筆記試験(65%)、課題レポート(30%)、その他(5%)」に位置づけた授業貢献度(5%)により総合的に評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 【知識・理解】の看護学科 DP1-2)「看護実践に必要な基本的な知識を修得している。」は、筆記試験(65%)から総合的に評価します。 2. 【思考・判断】の看護学科 DP2-1)「健康上の課題を解決するため、情報や知識を活用し論理的に思考・判断できる」は、レポート(20%)の内容から評価します。 3. 【関心・意欲】の看護学科 DP3-2)「健康支援に関わる人々と協働・連携し、生活の質を維持・向上させようとする意欲をもっている。」はレポート(10%)の内容から評価します。 4. 【態度】DP4-1)「看護実践者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。」は、その他(学習貢献度:5%)から評価します。